

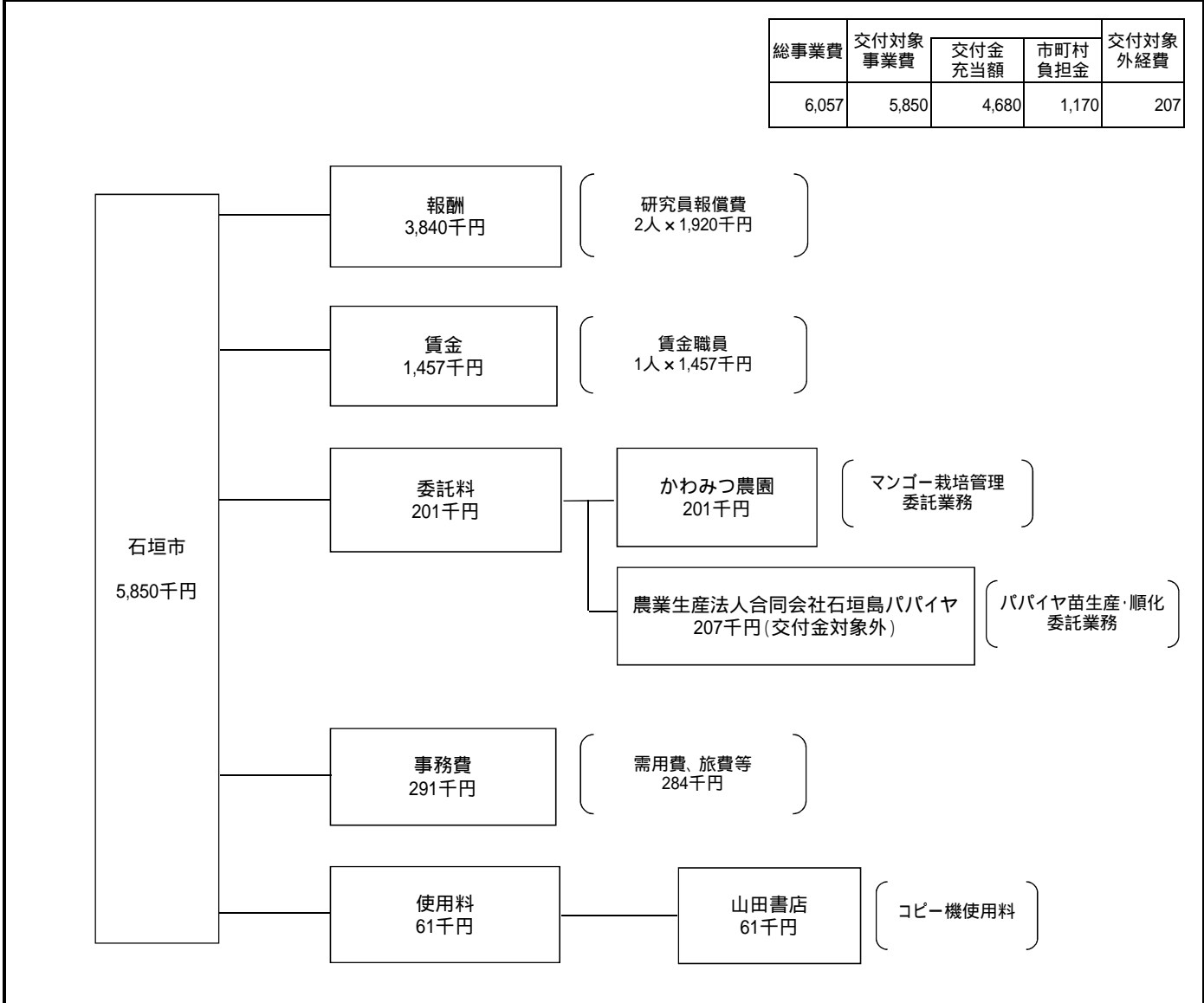
市町村名		石垣市					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	熱帯果樹栽培研究事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 -1-(6)	
事業内容	熱帯果樹産業の振興を図るため、パパイヤをはじめ熱帯果樹を使った食材の研究、商品化や栽培研究を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,323	6,294			
		(b)予算現額	6,323	6,294			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	6,323	6,294			
	B.執行済額		4,033	6,057			
	うち交付金充当額		3,226	4,680			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		63.8%	96.2%			
予算の状況の説明		事業計画どおりの適正執行がなされた。(平成25年度は早期の事業着手により適正な事業実行が実施できた)					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度(5-)	25年度	26年度(5-)	27年度	
	栽培研究	目標	(2)	(1)	()	()	
		実績	2	1			
	苗配布等	目標	(0)	(800)	()	()	
		実績	0	800			
達成状況説明	平成25年度はマンゴー根域制限栽培研究とパパイヤ種苗配布に伴うアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努める。マンゴーの根域栽培技術の実証については、新栽培技術の実証区と既存の栽培技術を比較した生育状況調査が複数年必要である。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度(5-)	25年度	26年度(5-)	目標値(33年度)
	熱帯果樹の苗の配布(パパイヤ:年間800本)により普及を図り、アンケートの実施により熱帯果樹のニーズを確認する。	目標	(800)	358	(800)	()	(800)
		実績		358	800		
	マンゴー根域制限栽培の検証	目標	()		(検証)	()	(検証)
		実績			検証		
	【参考指標】 優良矮性品種の栽培農家数	目標	()	(1)	()	()	(3)
実績			0				
進捗状況説明	<p>パパイヤの新品種の育成については、H24年度に交配試験により種子を選抜、H25年度にその種子を育成し外観・肉質について研究を行った。H26年度には育苗目標に近い2個体を選抜し引き続き研究を行った。また、より良い個体の選抜を効率的に行うために、選抜された種子を多くの市民に配布し育成してもらいモニタリング調査を行った。新品種の作出については、10年ほどの長期的な期間をかけて育種選抜を繰り返す必要があることから引き続き研究を行っていく。</p> <p>マンゴーの新たな栽培方法の確立については、平成24年度より研究を実施し(苗を植え)ている。平成25年度は実がなり成果をだすことはできたが、水分コントロールや枝の伸び具合によって収穫数に差がでることが分かり、栽培方法の確立とまでは至っていない。通常の栽培方法との比較した生育状況調査も複数年必要なことから、引き続き実施していく。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>熱帯果樹事業はパパイア・マンゴーの生産拡大を目標としており、パパイアについては優良矮性品種の作出に取り組み、マンゴーについては新たな栽培方法の確立について取り組んだ。</p> <p>パパイア育種については、熱帯果樹センター(旧パパイア研究所)がパパイア用の温室や圃場を持っていないことから農家の施設を借りて実施しているが、作業効率が十分でない。そこで市民へ苗を配布し多くの人々に育成してもらいモニタリング調査を実施した。</p> <p>しかしながら、配布した苗のほとんどが大型台風等の影響でうまく育成できず、十分なデータを得ることができなかった。</p> <p>マンゴーの地中根域制限方法については、実がなり一定の成果はでたものの、水分コントロールや枝の伸び具合によって収穫数に差がでることから、安定した栽培方法の確立のためには複数年の栽培データが必要である。</p>	<p>パパイアの新品種の育成については、引き続き優良種子の選出に取り組む。</p> <p>パパイア苗の市民への配布については、多くのデータを得るためにも必要であるため、配布時期の工夫を行う。</p> <p>マンゴーの栽培方法の確立については、引き続き育成を行い、各木々によって収穫数の差がでない安定した栽培方法の確立を行う。</p>

今後の取り組み方針

パパイアの新品種育成については、交配して得られた種子の系統分離を促進させ、早期の選抜を進める。
マンゴーの栽培方法確立については、栽培環境の細かな調整を行い、引き続き栽培を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	・予算の用途については事業実施に必要な範囲に限定されており、報酬及び賃金、委託費、事務費とも適切に支出され適正であった。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
			費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	